

協議第 2 号

可児市コミュニティバス再編の方向性について

コミュニティバス再編の概要

1. 再編の背景

- 可児市地域公共交通網形成計画策定時から、一度も路線やダイヤを変更していない。
- 帷子地区の団地をはじめ市内団地を中心に高齢化に伴い、交通ニーズが高まっている。
- これまでの市民アンケートや利用者アンケート等からも、バス路線の充実の声が多く寄せられている。
- 市議会や地域住民団体からも、バスの充実の要望を受けている。また、市議会からは「名鉄広見線（犬山駅～新可児駅間）の活性化に向けた取り組みの提言を受けている。

コミュニティバス再編の概要

2. 現状の課題

- 団地を中心に高齢化が進み、高齢者の移動手段を確保する必要が出てきている。
- 鉄道ダイヤとバスのダイヤが合っていない。
- 路線延長が長く、便数が増やせない。
- 全ての路線が可児駅発着となっており、路線の重複等、効率が悪い。
- 基本的に朝 8 時から午後 5 時頃までしか走っていないため、通勤・通学に使用できない。

コミュニティバス再編の概要

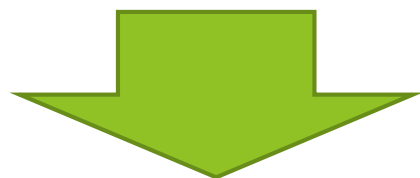
3. 再編の趣旨・目的

- ・ 名鉄広見線（犬山駅～新可児駅間）の活性化に向けた取り組みを行うため、駅へのアクセス強化を図る。
- ・ 年々高まるバスニーズに応じていく（市民や議会からの要望）。
- ・ 主な利用者である高齢者の移動需要に応える。
- ・ 可児市への来訪者が、可児市の地域資源である場所や施設へのアクセスを確保する。
- ・ 休日運行により、子どもたちが行く公園や施設へのアクセスを確保する。

コミュニティバス再編の方向性

再編の基本方針

- 名鉄広見線（犬山駅～新可児駅間）の活性化
- 身近な暮らしの安心づくり（まちの安全づくり）
- 高齢者の暮らしを支援（高齢者の安気づくり）



「**住みごころ一番・可児 ～すこやかに、にぎやかに、おだやかに暮らせるまち～**」の実現に向けた、公共交通ネットワークの整備

コミュニティバス再編の方向性

【さつきバス見直しの具体的な方向性】

- ・ 東鉄帷子線のさつきバス化の実施・増便
- ・ 中心循環線の廃止（今渡線・新可児線に再編）
- ・ 西部線の短縮
- ・ 桜ヶ丘線の再編・増便
- ・ 兼山線の廃止（デマンド「電話で予約バス」へ）
- ・ 早朝・夕方の通勤・通学客に対応
- ・ 地域資源・地域拠点へのアクセス改善
- ・ 平日ダイヤ・土休日ダイヤの導入・日曜日・祝日運行の実施
- ・ 運賃体系の変更（1日乗車券の利用促進）



さつきバス再編のスケジュール（案）

	～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月～	
① 運行事業者との協議・調整 (路線、ダイヤ、運転手確保)	→								
② 道路管理者・警察・各事業者の整理 (バス停の設置、バス待ち環境の整備)	→								
③ 運賃協議会					● 協議会と同日				
④ 地域公共交通協議会	● 運行の方向性				● 詳細な運行計画				
⑤ 地域への説明会 (再編の方向性等)		→							
⑥ 地域で乗り方講座								→ 随時	
⑦ 広報・周知							→		
再編後の運行開始								★	